6回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認②〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
7回	文献クリティーク② - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
8回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認③〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
9回	文献クリティーク③ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
10回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認④〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
11回	文献クリティーク④ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
12回	研究課題につながる可能性のある現象の言語化と関連知識の確認⑤〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
13回	文献クリティーク⑤ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
14回	中間まとめ - 研究課題との関連現象と文献クリティーク〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
15回	研究に向けた課題の焦点化と研究の意義・目的・方法論の確認⑥〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
16回	文献クリティーク⑥ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
17回	研究に向けた課題の焦点化と研究の意義・目的・方法論の確認⑦〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
18回	文献クリティーク⑦ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
19回	研究に向けた課題の焦点化と研究の意義・目的・方法論の確認⑧〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
20回	文献クリティーク⑧ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
21回	研究に向けた課題の焦点化と研究計画の構想⑨〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
22回	文献クリティーク⑨ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
23回	研究に向けた課題の焦点化と研究計画の構想⑩〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
24回	文献クリティーク⑩ - 興味・関心のある現象に関連する文献の検討〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
25回	愛媛県看護教員継続教育研修会の参加①〔講演・グループワーク・運営への参加等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
26回	愛媛県看護教員継続教育研修会の参加②〔講演・グループワーク・運営への参加等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
27回	看護教育学に関する学術集会への参加①〔講演・研究発表の聴取等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
28回	看護教育学に関する学術集会への参加②〔講演・研究発表の聴取等〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
29回	研修会・学術集会参加による学習成果のまとめ〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）
30回	学習成果の総括・研究計画（案）の提示〔発表・討議〕（野本百合子・徳永なみじ・窪田 静・北川 恵）

成績評価方法及び基準

発表課題レポート（60%）、プレゼンテーション・質疑応答（40%）の合計により、評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・舟島なをみ編：看護学教育における授業展開－質の高い講義・演習・実習の実現に向けて ・舟島なをみ編：院内教育プログラムの立案・実施・評価 第2版、医学書院
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学 第7版、医学書院 ・Gertrude Torres他著、近藤 潤子他訳：看護教育カリキュラム－その作成過程、医学書院 ・梶田 叡一：教育評価 第2版補訂2版、有斐閣双書 ・西岡 加名恵、石井 英真、田中 耕治：新しい教育評価入門（増補版）：人を育てる評価のために、有斐閣コンパクト ・Donald A. Schon著、佐藤学他訳：専門家の知恵－反省的実践家は行為しながら考える、ゆみる出版

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

文献講読については、受講生間で相談して担当部分を決定の上、担当箇所の内容をまとめて事前レポートを提出し、授業時にプレゼンテーション・質疑応答を実施する。そのため、事前に指定文献の担当箇所を精読してレポートを作成、提出するための時間を要する。また、担当箇所の内容を理解するために、必要に応じて追加して文献を確認し、精読する必要がある。

授業計画の立案は、学生自身の過去の実践や新たな取り組みなどについて、全体像を描きつつ、自己の担当授業の展開を考える。自身の教育経験がない場合は、学習経験を前提として、より効果的な仮想の授業計画等を作成する。

関連科目

前科目	M103 生涯教育学特論	M205 看護教育学特論Ⅰ	M206 看護教育学特論Ⅱ	M202 看護研究方法論Ⅰ	M203 看護研究方法論Ⅱ
後科目	M227 特別研究Ⅰ	M228 特別研究Ⅱ			

実務家教員

看護師（医療機関）	野本 百合子	徳永 なみじ	窪田 静	北川 恵		

備考	※基盤看護分野の専攻学生には「必修科目」					